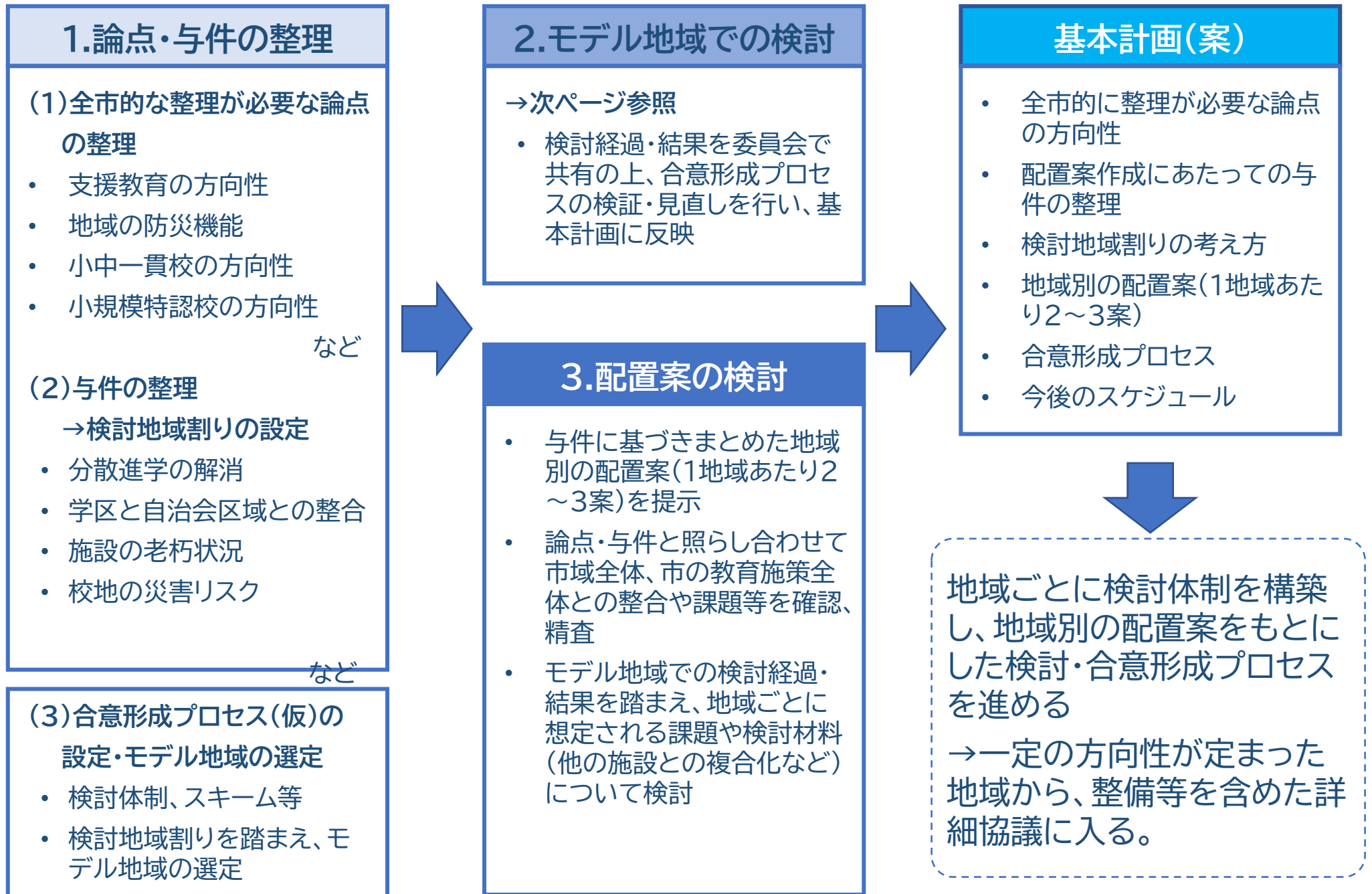


基本計画の検討フレーム・モデル地域での検討プロセスについて(案)

基本計画の検討フレーム(案)



モデル地域での検討プロセス(案)

<想定される参加者>

教職員、保護者(入学予定の方含む)、学校運営協議会委員、地域関係者対象校の学校協力者、児童・生徒 など

1.現状と課題の共有

- 対象校の児童生徒数の推移・推計
- 教職員の配置状況
- 教育活動(部活動含む)の実施状況
- 学区・通学路の状況
- 建物・校地の状況
- 対象地域の状況
(人口推計、都市計画、交通、公共施設の設置状況、など)
- 地域と学校の連携状況(特色ある教育活動、学校の地域利用の状況など)

2.学校配置について

学校配置の将来像(複数案)の比較検討・協議

- 各案の良い点、気になる点などの整理
- 気になる点の解決策
- 学区変更、通学距離・時間の変更への対応策(安全対策など)
- 学校と地域との連携方策(地域開放、管理運営のあり方など)

3.方向性の整理

- 2を踏まえ、学校配置の将来像や今後の検討の方向性等について整理、取りまとめ

<まとめる内容(案)>

- 目指す学校の姿、コンセプト(大切にしたいこと)
- 目指す学校の姿を実現するのに望ましい学校配置の将来像(おすすめ案をしぼる(1つにしなくてもOK))
- 今後に向けた課題、留意点

<想定される手法>

○インプット、意見交換

- 例① 地域の地図上に通学路の状況(危険箇所など)を書き出す
- 例② テーマ別の意見交換により、多様な視点・意見を共有

○グループワーク

- 例① 案ごとに良い点・気になる点を書き出す(学校規模や距離、立地などの視点を提示)
- 例② 新しい学校に、自分だったらどんな風に関わりたいか

○全体ワーク

- 例① 全グループの意見を整理(グルーピングなど)
- 例② どんな学校を目指したいか、何を大切にしたいかを整理